

登別市中央地区まちづくり協議会 第5回ワーキンググループ 議事録

開催概要

日 時 令和5年4月26日(水) 18:00~19:30
場 所 登別中央ショッピングセンターアーニス 2階 あえるSTATION
出席者 ワーキンググループ委員 別紙のとおり
事務局・オブザーバー 別紙のとおり
その他参加者
登別市職員：服部総括主幹(商工労政G)、鳥海主査(市民協働G)

議事内容

1 開会

事務局(総務部本庁舎整備推進グループ)が進行

2 コンセプトづくりに向けた協議

- ・事務局提案により、委員が2グループに分かれてもらい、グループワーク形式で協議を行った。
- ・これまでの協議や意見交換でいただいた意見等を参考に、下記手順によりグループワークでコンセプト案作成に向けた協議を行った。

- 手順1 リサーチする
- 手順2 中央地区の「不」を集める
- 手順3 「不」の反対側(ビジョン)を集める
- 手順4 実現方法を検討する
- 手順5 抽象化した言葉をまとめる【コンセプト化】

【参加した委員等からの主な発言】

グループ①

- ・宿泊施設がない。客室のほか、宴会場や住居など複合的な施設があるといい。
- ・まちが汚れている。清掃活動と健康づくりをつなげることができれば、清掃活動などに参加する人が増えるのではないかな。
- ・まちに人が集まりにぎわいがあれば、購買意欲につながるだろう。
- ・バスの本数が少なく、タクシーを呼んでもすぐにきてくれない。コミュニティバスの運行など、中央地区とそれ以外の地区とがつながれば、購買意欲の増加につながるのではないかな。

- ・ 様々なものを「つなげていく」ことが必要。小さな塊が有機的につながり、その輪を無限つなげていくことができる、そのようなまちになればいい。
- ・ 「つながる、つなげるまち」あるいは「つなげるまち」というコンセプトがいいのではないか。

グループ②

- ・ 子育て世代としては、子どもがを連れて遊べる場所がない。特に、雨天時などは車で市外に出ないと遊べない。安全で魅力のある施設があるとうれしい。
- ・ 一度市を離れた子育て世代が、戻ってきたくなるようなまちがいい。
- ・ 登別市は、温泉街には人が来るけど、中央地区までは足をのばしてもらえない。グルメやスポットなどちょっと足をのばして見たくなるような目玉が必要。
- ・ 息抜きなどでふらっと行けるまち、「ホッと一息」つけるまちをコンセプトにするのはどうか。
- ・ 市の魅力や情報を発信できる場所を跡地にできないだろうか。その上で、市民が「一緒に」をコンセプトに盛り上げていければと思う。

3 その他

【事務局より説明】

- ・ 次回の開催は5月中を予定している。
- ・ 次回ワーキンググループにおいてコンセプト案を決定し、協議会に提案していきたい。

4 閉会

19時30分 閉会

以上